

アジア研究教育ユニット 2024 年度教育研究報告書

事業課題名	EHESS コチュテル
代表者名	安里和晃
事業概要 (600 字程度)	本事業は、EHESS（フランス社会科学高等研究院）との間で進められている国際的な研究・教育交流の一環として実施されたものである。EHESS とは 2015 年に全学交流協定を締結し、さらに 2020 年には京都大学文学研究科との間でコチュテル（共同博士課程）協定を結ぶなど、両機関の連携は着実に深化してきた。 2024 年度からは、ハイデルベルク大学を加えた三機関による研究交流が始動しており、本事業はその多層的な連携体制をさらに発展させることを目的としている。これに関連し、2024 年 10 月には EHESS 院長の Romain Huret 氏が京都大学を表敬訪問し、出口文学研究科長および総長と意見交換を行った。 本事業は、コロナ禍により一時中断を余儀なくされた研究・教育交流を再活性化させるため、URA や関係部局と連携しつつ、EHESS との連携強化を図っていく。
成果の概要 (800 字程度)	2024 年 11 月 29 日および 12 月 10 日に、EHESS（École des hautes études en sciences sociales）副学長との面談が実施された。EHESS とは 2015 年に全学交流協定が締結されており、さらに 2020 年には文学研究科との間でコチュテル協定が締結されるなど、関係強化が図られてきた。 現在は、2024 年よりハイデルベルク大学も含めた三機関による国際的な研究交流が進展しており、今後の連携の深化が期待されている。この流れを受け、2024 年 10 月には EHESS 院長である Romain Huret 氏が京都大学を表敬訪問し、出口文学研究科長および総長との懇談が行われた。 今回の面談は、アジア研究教育ユニットの安里ユニット長が EHESS を訪問する形で実施され、今後の研究・教育交流の方向性について意見交換が行われた。特に、三大学間の連携およびコチュテル制度を含む多層的な協力体制の構築に向けて、より一層の協力が必要であるとの認識で一致した。 あわせて、スムーズな交流を進めるために、各機関の制度や運用に関する情報交換が行われ、実務面での相互理解を深める機会となった。 本面談を通じて、京都大学と EHESS との間における持続的かつ実質的な研究教育交流の強化に向けた基盤が再確認され、今後の発展に向けた具体的な協議の重要性が再認識された。 また、安里ユニット長による 2 度のセミナーも開催された。